

はじめよう！！

“飼い主のいない猫の地域猫対策”

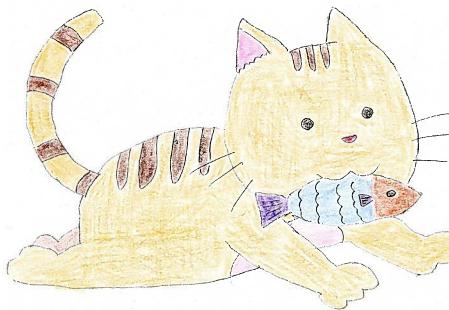
富山市には、飼い主のいない猫や外飼いの猫に対する苦情や相談が多く寄せられています。

軒下で子猫が生まれてしまった！

鳴き声がうるさくて眠れない！

庭や駐車場に粪やオシッコをされて困る！

ゴミが荒らされた！



飼い主のいない猫の問題を、地域の問題としてとらえることが、解決への第一歩になります。

飼い主のいない猫の地域猫対策

飼い主のいない猫の地域猫対策とは、

- ①猫は命あるものだという考え方で、
 - ②地域にお住いの皆さんの理解と協力のもと、
 - ③不妊去勢手術をおこない
 - ④地域の実情に応じたエサやりやトイレの管理のルールを作り、
 - ⑤猫を適正に管理しながら共生していく
- というものです。

地域住民による日々の活動を、ボランティアや行政が協力、支援する形が代表的なかたちです。

飼い主のいない猫は飼い猫ほど長生きできないといわれています。地域で、適正な猫の管理を続けることで、飼い主のいない猫の数を徐々に減らし、猫をめぐる対立や環境被害を解消していきましょう。

地域住民

- トイレの設置・清掃
- エサの管理
- 不妊去勢手術
- 飼い猫の適正飼育の徹底など

行政

- 飼い主のいない猫対策の普及啓発
- 技術的助言
- 不妊去勢手術にかかる費用の支援など

ボランティア

- 不妊去勢手術のための組織や搬送の協力
- ルールづくりのアドバイスなど

猫にとっても地域の人にとっても一番良いことは、
猫を大切に飼ってくれる飼い主が見つかることです。
地域で猫を飼うことができる
人を募集することも大事な取組です。



飼い主のいない猫にエサを与えていた方へ

やせておなかをすかせた猫をかわいそうに思い、エサを与えたくなる気持ちはわかります。しかし、エサを続けることで、猫が住みつき、繁殖するようになります。猫の数が増えると、猫を迷惑に思う人も増えることになります。猫を地域の嫌われ者にしないためにも、エサを与える以上は、不妊去勢手術、トイレの設備や清掃、食べ残したエサの片づけなど、猫の管理をきちんとすることがとても大切です。

飼い主のいない猫を迷惑に思っている方へ

猫を迷惑に思う原因は様々だと思います。「猫を追い出せばいい」と言う人もいるかもしれません。しかし猫の増える原因を解決せずに猫を排除するだけでは、また同じ問題が起こってしまいます。飼い主のいない猫の問題を自分たち住む地域の問題の一つととらえ、地域猫対策にご理解ください。

猫を飼っている方へ

もともと、飼い主のいない猫は、飼い猫が捨てられ、増えたりしたものでした。これ以上、飼い主のいない猫を増やさないためには、まず、飼い主が責任を持って猫を飼うことが大切です。

①猫は室内で飼いましょう

猫を屋外で飼うことは、近隣に迷惑をかける場合があるほか、迷子、交通事故、感染症、猫同士のケンカなど、猫にとって危険がたくさんあります。

②不妊去勢手術をしましよう

繁殖を望まない場合は、メスには不妊手術、オスには去勢手術を必ず実施しましょう。

猫は1年に1~3回出産し、あっという間に増えてしまいます。

また、不妊去勢手術をすることによって、生殖器の腫瘍などの病気が予防できるほか、発情期の鳴き声、ケンカ、オシッコのにおいが緩和されます。

③身元の表示をしましよう

迷子になっても見つけられるように、飼い主の連絡先を書いた首輪や、マイクロチップ等を装着しましょう。

④飼い猫を捨てないでください

一度猫を飼い始めたらその命を終えるまで飼い続ける覚悟が必要です。飼育することがどうしても難しくなった場合は、責任をもって新しい飼い主を探してください。

